

第3章 基本理念と基本方針

1 基本理念

読書活動は、子どもが言葉や知識を身に付け、想像力や感性を磨くために欠かせないものです。身に付けた言葉によって、自分の考えを伝えることが可能になり、想像力によって、他者を思いやることができるようになります。

また、読書は子どもの心の成長に寄与するだけでなく、楽しみや慰め、生きる指針となるものです。生涯その人に寄り添い支えとなるような本に1冊でも多く出会い、さまざまな読書活動を体験することは、生きる力となります。

福島市で育つすべての子どもが、生涯にわたって読書に親しみ、これからの人生を力強く歩んでいくために、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たし共創しながら、社会全体で子どもの読書活動を推進します。

そこで、

豊かな読書体験を力として、自ら未来を切り拓くふくしまっ子

を目指す姿として基本理念に掲げ、自ら本を手に取り主体的に本から学び考え、豊かな感性や創造力、語彙力や表現力等を備えた心かがやく子どもを育みます。

2 基本方針

基本理念の具現化のため、以下の3つを基本方針として定めます。

基本方針1 子どもが読書に親しむ機会の拡充

子どもが読書の楽しさや良さを実感するためには、発達段階に応じた本との出会いの場の提供や読み聞かせなど、読書に親しむ機会の拡充が必要になります。そのため、乳幼児期から家庭を原点として、家庭・地域・学校等を通じた社会全体で読書に親しむ機会の充実に取り組みます。

また、学校段階が進むにつれて読書離れが進む傾向を踏まえ、子どもが生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、それぞれの発達段階に応じた切れ目のない取組を進めます。

基本方針2 子どもの読書活動を支える環境の整備と充実

子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において読書に親しむことができる環境の整備を推進します。子どもにとって身近な読書活動の拠点となる図書館・学習センターと学校図書館等の資料の充実および指導者・有資格者等の資質向上に努め、連携を深化するとともに、快適な読書スペースを提供することにより、豊かな読書環境を確保します。また、情報通信技術を活用した取組に努めます。

基本方針3 子どもの読書活動への理解の促進と人材育成

新たに制定する「ふくしま読書の日」、「子ども読書の日」²⁰、「こどもの読書週間」²¹を中心とした読書推進事業や、さまざまな機会を捉えた啓発活動の充実などを通じて、子どもから大人まで幅広い市民に対し、子どもの読書活動の意義や重要性について普及・啓発を図ります。

また、子どもの読書活動を支える人材の確保や資質向上とボランティアや関係団体の支援・育成に努めます。

²⁰ 子ども読書の日：国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を広める目的で、毎年4月23日と定めています。

²¹ こどもの読書週間：読書推進運動協議会が主催団体となり、4月23日～5月12日を指定しています。

基本理念

豊かな読書体験を力として、
自ら未来を切り拓くふくしまっ子

**基本方針1 子どもが読書に
親しむ機会の拡充**

方策1 発達段階に応じた読書活動の推進

方策2 家庭における
読書活動の推進

方策3 地域における
読書活動の推進

方策4 学校等における
読書活動の推進

方策5

支援を必要とする
子どもの読書活動の
推進

**基本方針2 子どもの読書活動を支える
環境の整備と充実**

方策1 図書館等の整備・充実

方策2 学校図書館等の整備・充実

**基本方針3 子どもの読書活動への
理解促進と人材育成**

方策1 推進のための普及・啓発

方策2 読書活動を支える人材の育成と
連携体制の強化

■柱となる取組とねらい

「10分読書」運動

- 「10分読書運動」とは
「1日の中で、いつでも、どこでも、誰とでも、どんな形でもよいので、1日合計10分本に親しもう、10分読書の時間を持つ」というもの
- 新しい視点「本にふれた時間」
子どもが本とどれだけ向き合ったかを、冊数と併せて時間で計る
- 発達段階に応じた本とのつきあい方を提言
読書は、楽しむ読書 ⇒ 調べる読書 ⇒ 考える読書へ
<乳幼児期>本とであう 10分読書
<小学校期>本となかよし 10分読書
<中学校期>本でひろがる 10分読書
<高校期>本で深まる 10分読書
→ 発達段階に応じた「10分読書」に取り組む

「ふくしま読書の日」

- 「ふくしま読書の日」とは
毎月24日を「ふくしま読書の日」に制定し、市全体で読書の機運を盛り上げる
- 書店やボランティアなど、民間・市民との共創
- 「ふくしま読書の日」に合わせ、各種取組を展開する

ふたつの取組を柱として、読書活動の推進を図る

- 家庭への働きかけ
家族みんなで、本を楽しむ
本を読んだり、本について話したり
家庭の読書環境を整える
- 本を通じた人と人とのコミュニケーション
友達同士などで、おすすめの本を紹介し合う
- 社会への啓発・読書のきっかけづくり
～まずは1日合計10分から～
・読書に苦手意識のある子どもでも挑戦しやすい
・忙しい中高生も隙間時間を活用して取り組める
～「読書の日」だから読んでみよう～
“たまには本を読んでみようかな”
「本」「読書」を意識づける

様々なシーンで本にふれる
本が日常の一部になる



読書習慣の確立